ケンコーレポート

KENKO REPORT

vol.21

第65期第2四半期

2021年4月1日～2021年9月30日

障がい者アーティスト
takahashi氏／作
作品名「感謝のサークル」

Paralym Art®

ケンコーマヨネーズはパラリンアートを応援しています

パラリンアートとは
障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。

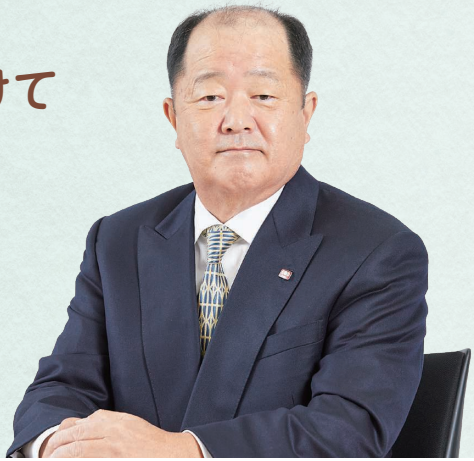
KENKO
ケンコーマヨネーズ株式会社

トップインタビュー

困難な時代を乗り越え 新しい未来に向けて着実に前進してまいります

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度の新型コロナウイルス感染症拡大に関して、
一日も早い事態の収束と皆様のご健康をお祈り申し上げます。
当社は、常に変化する食市場や事業環境を見据え、
新たな市場を創造してまいります。

代表取締役社長 炭井孝志



上期の業績について

売上面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止による飲食店などの休業や営業時間短縮、酒類の提供禁止など行動制限の影響もありましたが、外食分野等での回復が進んだことやファストフードを中心に売上拡大を進めてまいりました結果、前年同期比では増収となりました。調味料・加工食品事業につきましては、前年の新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な落ち込みから回復が進み、各商品群でいずれも増収となりました。特にマヨネーズ・ドレッシング類では、中期経営計画のテーマの一つである「B to B to C」に基づいた小容量の商品や、テイクアウト需要に対応した小袋商品に加え、7月から開始したマヨネーズ類の価格改定の進捗効果等により増収となりました。また総菜関連事業等におきましても、2018年より稼働を開始したダイエットクック白老及び関東ダイエットクック神奈川工場が4年目に入り、売上高は順調に拡大し利益も大幅に改善いたしました。

利益面につきましては、原料価格のさらなる高騰により大幅なコスト増加となりましたが、売上高増加に伴う工場の稼働率向上や経費削減等の収益改善を進めた結果、増益となりました。

上期の取り組みについて

使い切り可能な小容量商品やテイクアウトに便利な商品の発売、トレンドを意識したレシピ提案、食育や工場見学などの動画作成などを継続して行ってまいりました。これまで当社は業務用メーカーとして事業を進めてまいりましたが「B to B to C」というテーマにもありますように、業務用のお客様だけでなく消費者の皆様に対しても直接商品をお届けできるように、模索していかなければならない局面にあると考えています。例えば「ガーリックバターソース」は、このコロナ禍でも度々テレビや雑誌、Webメディアに多く取り上げていただきました。この商品を通じて初めて当社の名前を知っていただく方が増え、スーパーやドラッグストアの店頭にも並ぶなど、非常に嬉しい反響がございました。当社の挑戦を「New KENKO」として、これまでの取り組みをさらに発展させ、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた新たなご提案に繋げてまいります。

当社を取り巻く環境・取り組みについて

当社の直面している課題の一つに原料価格の高騰があります。特に食用油の価格高騰のため、一部商品群において価格改定を実施し、マヨネーズ・ドレッシング類、ソース類については来年1月にも改定を予定しております。状況を常に分析しながら、商品を安定供給し続けられるよう、努めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きく変化した食を取り巻く環境について、以前と全く同じ環境に戻るにはまだ多くの課題があると考えています。当社ではコロナ禍以前より、居酒屋やファミレス、ベーカリーをはじめとした分野別に対策を行っております。そしてコロナ禍でも、テイクアウトやデリバリー需要などの市場変化に迅速に対応し、新商品の発売やメニュー提案を継続してまいりました。

さらに、これからの持続的な成長には、「環境・社会・健康」というキーワードも重要だと考えております。以前より取り組んでおります、じゃがいもの皮等の液状飼料化や、各工場でのゼロエミッションを継続していくほか、社内向けの情報発信もさらに強化してまいります。

〈サステナビリティ方針について〉

当社グループは、2021年度より中期経営計画「KENKO Transformation Plan」をスタートさせております。この中期経営計画では、前中期経営計画のCSV経営の考え方を継続し、社会と企業の共存を目指すために「企業価値の向上と持続的な成長に向けた変革」を基本方針といたしました。その上で「環境・社会・健康」への貢献を目指すサステナビリティ方針を軸に持続可能な社会の実現に貢献するための取り組みを進めております。当社の取り組みが、社員はもちろんお客様や社会にとっても価値のあるものとなるよう、5つの重要課題に対して目標を策定し、国連が定めた「17の持続可能な開発目標（SDGs）」と連動して活動を推進してまいります。（→詳細はP3,4特集ページをご参照ください）

株主の皆様へメッセージ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、まだ多くの制限が残っています。しかし以前とは確実に異なり、社会も私たちも模索を繰り返し、一歩ずつ新しい未来に向かって進んでいます。当社も常にその時に必要とされる商品・情報を敏感に察知し、一人でも多くの皆様のお役に立てるようなご提案に努めてまいります。また将来の持続的な成長・発展のため社員一丸となり、当社グループの掲げる中期経営計画や全世界の共通目標に向かって着実に前進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ケンコーマヨネーズグループのサステナビリティ

ケンコーマヨネーズグループは、持続可能な社会の実現に向け、
環境・社会・健康に対する「サステナビリティ方針」を定めています。
変わり行く時代の期待に応え、新たな価値の創造にチャレンジし、社会とともに成長してまいります。

〈サステナビリティ方針〉

環境
地球にやさしい企業へ

- カーボンニュートラル
- 循環型経済

社会
ステークホルダーの幸せづくり

- 働く人の幸せ
- 地域・社会との調和

健康
こころ・からだ・いのちを大切に

- 安全・安心な商品提供
- 健康経営の推進

持続可能な社会の実現

「サステナビリティ方針」に基づき、下記5つの重要課題に取り組みます。
それぞれの重要課題に対して目標を策定し、持続可能な開発目標(SDGs)と連動して活動を推進してまいります。

重要課題	取り組みテーマ	関連する主なSDGs
温室効果ガス	CO_2削減／再生可能エネルギーの使用／物流改善	
原料	食品ロスの削減／持続可能な原料の調達	
容器・包材	プラスチック使用量削減／3R活動の推進／環境に配慮した資材選択	
健康	付加価値商品の開発（プラントベースフード、栄養訴求、高齢者向けなど）／「食」を通じた教育活動	
人財	ワークライフバランスの向上／多様性の尊重／社員への学習機会の提供	

Pick UP! 取り組み

高付加価値リサイクル

じゃがいもの皮➡養豚飼料へ

西日本工場では、2009年よりポテトサラダを生産する過程で発生するじゃがいもの皮等を工場内で液状飼料化し、養豚農場に供給しています。

卵の殻➡肥料原料へ

静岡富士山工場では、タマゴ加工品製造の際に発生する卵の殻をパウダー状にし、肥料として供給しています。

液状化処理後のじゃがいもの皮(エコフィード)

卵殻パウダー

持続可能な原料とするための活動 (新品種の開発や研究)

当社の主力商品であるポテトサラダ主要原料のじゃがいもを安定調達していくために、国内の研究機関と連携しながら、気候変動や病害虫に対応した新品種の開発、研究に取り組んでいます。

サラダに適した品種「さやか」

支援活動(フードバンク活動への賛同、こども食堂への支援)

商品を寄贈する他、炊き出し準備やお弁当作り等のボランティアにも定期的に参加しています。

多様性の尊重

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の障害者雇用優良事業所等表彰において「静岡県知事褒賞」を受賞し、2021年10月に表彰が行われました。

【評価いただいた点】

❶特別支援学校2年生の体験実習から積極的に受け入れ、長期的な視点でお互いのミスマッチをなくし採用と定着に繋げている点

❷採用後のステップアップ制度を設け、向上心や責任感が持てるように工夫している点

❸特別支援学校、静岡県ジョブコーチや障がい者就業・生活支援センター等の地域の支援力を活用し、課題解決を図っている点

当社で働く全ての人が性別や年齢、障がいの有無、雇用形態などに関わりなく、やりがいを持っていきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

KENKO NOW

書籍「おうちで作る!!デパ地下の味 Salad Cafeのとっておきサラダ ベストセレクション」発売

本書籍は2012年に発売した『Salad Cafeのとっておきサラダレシピ』『Salad Cafeのごちそう！温野菜サラダ』の中でも特に好評だったメニューを厳選し、デパ地下で実際に販売している人気のサラダや、Webサイトのおすすめレシピを新たに加えたベストセレクション版です。野菜の選び方・保存方法、盛り付けのコツなど、長年サラダと向き合ってきたプロ直伝の技も紹介しており、サラダを存分に楽しめる一冊に仕上がっています。

ご購入はこちらから
https://www.kenkomayo.com/pro/g/g81547/

Salad Cafeがより身近に！企業コラボや監修商品発売

●鈴廣かまぼこ様とコラボ

2021年6月、鈴廣かまぼこ様とコラボし、サラダカフェオリジナルレシピの「おさかなボール」を使用したサラダ4品を期間限定で販売いたしました。良質なたんぱく質が取り入れられる新しい切り口のサラダは、店頭でも注目され好評でした。今後も話題の素材を取り入れたコラボを積極的に企画してまいります。

●ファミリーマート様のサラダを監修

全国（北海道、沖縄県を除く）のファミリーマート様で、Salad Cafeが監修したサラダが販売されています。2021年6月から始まり、11月発売のサラダで第5弾となりました。サラダ専門店であるSalad Cafeのアイデアが詰まったサラダをお近くの店舗でぜひお試しください。

ドレッシングの日
PRキャラクター
どれしい

8月24日 “ドレッシングの日”に料理教室を開催

当社が2016年に「ドレッシングの日」を制定し、今年で6年目を迎えました。お客様にドレッシングをもっと活用していただくために、料理教室「キッチンスペース831」では、8月24日に合わせてオンラインレッスンを開催しました。ドレッシングの基本から応用まで様々な情報をお伝えし、参加された方々からは「勉強になった」「子どもがサラダを完食した」など嬉しい感想をいただきました。今後も毎日の食事が楽しくなるようなイベントを企画してまいります。

キッチンスペース831
https://www.kenkomayo.com/pro/pages/feature_831.aspx

オリジナルレシピ公開中

コロナ禍で話題となった「キャンプ飯」、かわいらしい見た目の「マリトッツォ」など、トレンドを切り口に当社商品を使用したレシピページを公開しています。ぜひご覧ください。

外で手間なくおいしい「キャンプ飯」アイデアメニュー11選 公開

キャンプ飯
https://www.kenkomayo.com/pro/pages/feature1_camp.aspx

マリトッツォ
https://www.kenkomayo.com/pro/pages/feature2_maritozzo.aspx

『サポドレ®』シリーズが受賞

2021年9月に『サポドレ®』シリーズが、業務用市場の活性化に役立っている商品として、株式会社日本食糧新聞社主催「第25回 業務用加工食品ヒット賞」を受賞しました。

『サポドレ®』は、「いつものドレッシングで身体にうれしいサポートを」をコンセプトに開発した商品です。「サポドレ®ごまドレッシング」にはソイプロテインを、「サポドレ®クリーミーオニオンドレッシング」には食物繊維とオリゴ糖をプラスしました。今回の選考では「たんぱく質、食物繊維強化などセールスポイントが明確である」「注目成分を日常の食生活で手軽においしく摂ることができる」という点が評価されました。

新商品のご案内

使い切り・食品ロス削減・食の多様化など、変化する食のニーズに着目した商品を開発しました。小容量化や既存商品のブラッシュアップ、シリーズ品の追加など、さらに様々な食シーンでご使用いただけるよう商品を拡充しています。2021年秋冬向け新商品では、注目のプラントベースフード「豆乳ホワイトソース」や、やわらかい食感で食べやすい「ほほえみ食彩豆サラダ」などを追加しました。

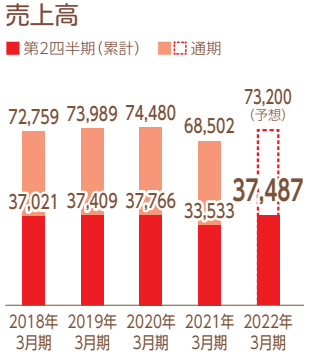
ケンコーマヨネーズ商品サイト
https://www.kenkomayo.com/

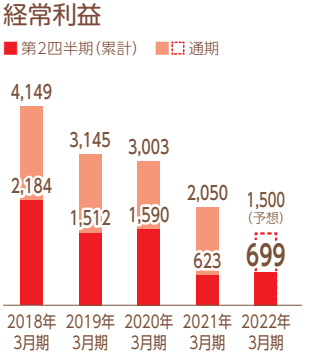
当第2四半期のポイント(連結)

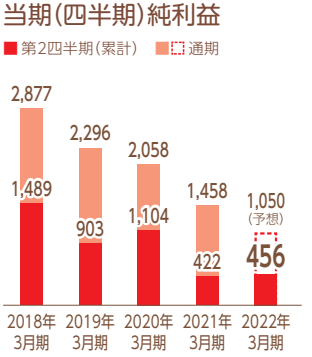
売上高
- 外食分野での売上高の回復やファストフード向けを中心に売上拡大を進めた結果、増収で着地

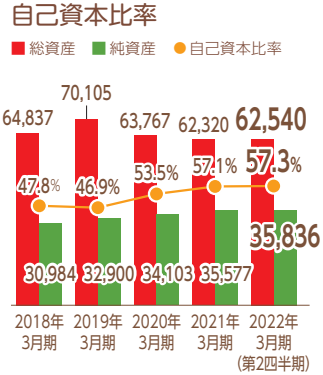
経常利益
- 原材料価格のさらなる高騰により大幅なコストアップ
- 売上高の増加に伴う工場稼働率の向上や経費削減等の収益改善を進めたことにより増益

連結財務ハイライト (単位:百万円)







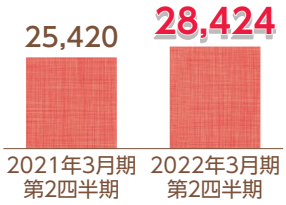


詳しい財務情報は当社のIRサイト(株主・投資家情報)をご覧ください。www.kenkomayo.co.jp/ir

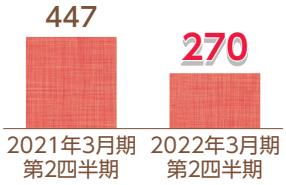
セグメント別営業概況(連結)

調味料・加工食品事業 75.8%

●売上高(単位:百万円)



●セグメント損益(単位:百万円)

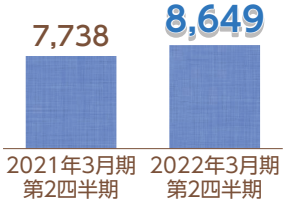


主な事業内容

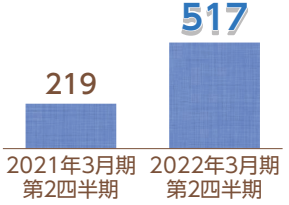
サラダ・総菜類(ポテト/ごぼう/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、
タマゴ加工品(厚焼き卵、錦糸卵、タマゴサラダ等)、
マヨネーズ・ドレッシング類の製造・販売

総菜関連事業等 23.1%

●売上高(単位:百万円)

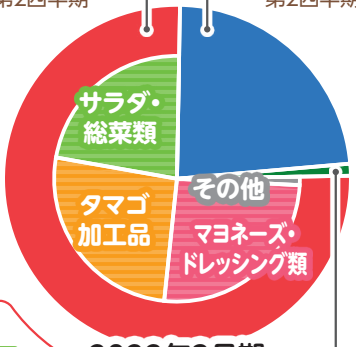


●セグメント損益(単位:百万円)



主な事業内容

- 国内の連結子会社7社が行う事業
  フレッシュ総菜(日配サラダ・和惣菜)の製造及び量販店等への販売
- ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業



2022年3月期 第2四半期 売上高構成比

サラダ・総菜類 売上高 **8,469**百万円

ポイント≫
- 主力商品の1kg形態のポテトサラダが苦戦する一方でツナサラダなどの他の商品群が伸長し増収

タマゴ加工品 売上高 **9,768**百万円

ポイント≫
- 大手製パンメーカー各社やコンビニエンスストア各社向けのタマゴサラダが増加

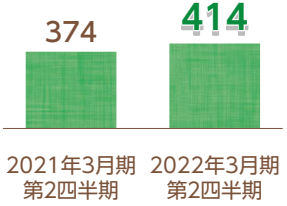
マヨネーズ・ドレッシング類 売上高 **9,669**百万円

ポイント≫
- 小容量商品やテイクアウト需要に対応した小袋商品の拡充
- 7月に開始したマヨネーズ類の価格改定効果等

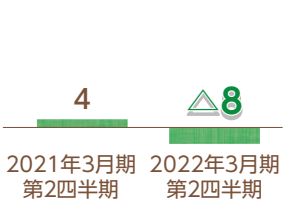
その他 売上高 **516**百万円

その他 1.1%

●売上高(単位:百万円)



●セグメント損益(単位:百万円)



主な事業内容

ショップ事業(Salad Cafe)及び海外事業※

※海外事業は持分法適用会社のため売上高には含まれません。

会社概要 (2021年3月31日時点)

会社名	ケンコーマヨネーズ株式会社 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
設立年月	1958(昭和33)年3月
本店所在地	兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号 (東京本社)東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
資本金	54億2,403万円
従業員数	3,213名(連結)
証券コード	2915(東京証券取引所市場第一部)
ホームページ	www.kenkomayo.co.jp

役員一覧 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	炭井 孝志	社外取締役	櫻本 和美
取締役副社長	寺島 洋一	社外取締役	今城 健晴
取締役	川上 学	社外取締役	三田 智子
取締役	塩谷 正樹	常勤社外監査役	神田 憲樹
取締役	島本 国一	常勤監査役	渡辺 亮彦
取締役	立花 健二	社外監査役	田島 正人
		社外監査役	原田 義夫

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	33,500,000株
発行済株式総数	16,476,000株
株主数	10,828名

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ティーアンドエー	1,457	8.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,439	8.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,429	8.78
第一生命保険株式会社	757	4.65
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE HCR00	745	4.58
日本生命保険相互会社	577	3.55
株式会社三井住友銀行	559	3.44
キッコーマン株式会社	491	3.02
一般財団法人旗影会	450	2.76
伊藤忠商事株式会社	448	2.75

※持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会　3月31日 期末剰余金配当　3月31日 中間配当　9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<杉並> 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

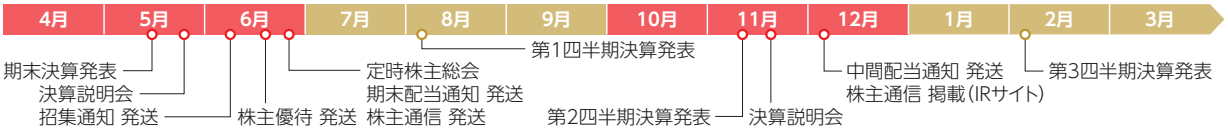
● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

IRカレンダー(予定)



ケンコーマヨネーズ株式会社

〒168-0072　東京都杉並区高井戸東3-8-13
電話／03・5941・7682（経営企画本部　広報・IR課）　FAX／03・3247・8818